



2019年10月3日

各位

会社名 霞ヶ関キャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 河本 幸士郎  
(コード番号：3498 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理本部長 廣瀬 一成  
(TEL. 03-5510-7653)

### 業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年6月10日に公表しました2019年8月期の業績予想（2018年9月1日～2019年8月31日）及び2019年8月27日に公表しました期末配当予想を下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年8月期の連結業績予想の修正（2018年9月1日～2019年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,708	百万円 640	百万円 512	百万円 346	円 銭 129.93
今回修正予想（B）	5,351	695	636	433	162.79
増減額（B－A）	△2,356	55	123	87	32.86
増減率（％）	△30.6	8.6	24.2	25.3	25.3

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。今回修正予想の1株当たり当期純利益は、当該株式分割が当年度期首に行われたと仮定して算定しております。

#### (修正の理由)

2019年8月期の当社業績予想について、売上高は減少したものの営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、前回予想を上回る見込みとなりました。

売上高につきましては、自然エネルギー事業は、太陽光発電案件を開発段階で売却した影響により、売上の計上方法がグロス表示からネット表示に変更になった事に起因して当該セグメントの売上高は、前回発表予想より3,077百万円減少する見込みとなりました。一方で、不動産コンサルティング事業において、インバウンドや国内グループ旅行等の観光需要に対応したアパート

メントホテル（注）の開発事業が好調に進んだ結果、当該セグメントの売上高は前回予想より 720 百万円の増加見込みとなり、この結果、全社売上高は前回予想より 2,356 百万円（30.6%減）の減少となりました。

営業利益につきましては、自然エネルギー事業において、売上高の減少はあったものの、開発原価も当初計画より減少し粗利額に関しては従来の計画をほぼ確保できたことから、全社では前回予想より 55 百万円（8.6%増）増加する見込みとなりました。

経常利益につきましては、不動産コンサルティング事業において、不動産を保有しない開発コンサルティングスキームを構築した事により、一般的な不動産開発に伴う資金調達が必要となり、金利負担が大幅に減少し、前回予想より 123 百万円（24.2%増）増加する見込みとなりました。

当期純利益につきましては、上記と同様の理由により、前回予想より 87 百万円（25.3%増）増加する見込みとなりました。

（注）「アパートメントホテル」とは、宿泊特化型ホテルと同程度の主要インフラとの近接性を持ち、家具・家電付賃貸マンションと同程度の居住空間（水回り（キッチン、バス、トイレ）、設備（テレビ、冷蔵庫、洗濯機）及び家具（ソファ等））をリーズナブルな価格帯で利用者に提供することにより、中長期利用者にも対応できる柔軟性を兼ね備えたホテルのことをいいます。

## 2. 期末配当予想修正（増配）

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (分割前)		15 円 00 銭 (30 円 00 銭)	15 円 00 銭 (30 円 00 銭)
今回予想 (分割前)		20 円 00 銭 (40 円 00 銭)	20 円 00 銭 (40 円 00 銭)
増減率 (%)		33.3%増	33.3%増
当期実績	0 円 00 銭		
前期実績 (2018年8月期)	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

（注） 1. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

2. 今回修正予想（増配）の期末配当の内訳：上場記念配当 20 円 00 銭

（期末配当予想修正（増配）の理由）

上記1. 2019年8月期の連結業績予想の修正を勘案した結果、2019年8月期の期末配当金につきましては、当社配当方針に基づき当初予想の1株当たり15円を5円増額し、1株当たり20円に修正いたします。

以 上